

自立と共創

学校教育目標

～自分の人生を舵取りし、共に未来を拓く生徒の育成～



校訓

自立 責任 敬愛

研究テーマ

探究的に学ぶ力を身につけよう ～プロジェクト型学習の考えをもとにして～

めざす姿（三者のビジョン）

めざす学校像

「誰もが誇れる“一生もの”の居場所」
・どんなこともチャンスと捉える心理的安全性が高く、地域と共に生徒を育む学校。

めざす教師像

「プロとして高め合い
共に笑い合える教師集団」
・生徒が内省する「静寂の時間」を保障し、個の成長をチームで支える教師。
・心にゆとりを持ち、特定のマンパワーに頼らず互いをフォローし合える集団。

めざす生徒像

「自分の人生の舵を握る生徒」
・内省（振り返り）を通し、周囲に流されず自分の考えを深め、判断できる生徒。
・TPOに合わせたマナーを自ら選択し、自分の言動に責任を持つ、品格のある生徒。

令和8年度の重点アクション（教師の姿勢）

「待つ」指導の実践

安易に答えを与えず、生徒が自分と向き合う「静寂の時間」を保障する。

「本質」の共有

プロとして正しさと優しさのバランスを追求し、指導のベクトルを合わせる。

「自らも内省する」

教育活動を振り返り、持続可能な組織へと改善するため、自らが考え続ける。

人権教育基本方針

あらゆる差別の現実を正しく学び、
自分の課題として捉える人権教育の実践

重点目標 4つの柱

学校経営の重点

- ①【内省から協働へ】
個で内省し、その後に協働的な学びへと繋げる授業改善の推進。これが基礎学力の定着の充実へと繋がるサイクルを確立。
- ②【人権教育の徹底】
開校の歴史と設立の経緯を礎とし、あらゆる差別を許さない実践力を育て、生徒も教職員も豊かな心を育む学校づくりを推進。
- ③【笹原中学校区の連携】
部活動地域移行後の生徒の居場所づくり等、保護者・地域・校区小学校（一貫教育）との連携を深め、校区全体で子どもを育む持続可能な体制の構築。
- ④【ウェルビーイングの追求と「働きがい」の創出】
生徒・教職員双方が「明日がもっと楽しみ」と思える環境を整備する。業務の効率化と精選を進め、教職員が心身ともに健康で、情熱を持って生徒と向き合える「持続可能な学校経営」を推進する。

学習指導の重点

- ①【考える楽しさの創造】
「めあて」と「振り返り」を軸に、安易に答えを求めず「個」の時間を保障した、粘り強く「考える力」の育成。
 - ②【学習意欲の向上】
自らの課題を内省し、自力で解決する体験を通して、学びへの自信と意欲の育成。
 - ③【対話による磨き合い】
自分の考えを言葉にし、ICT等を活用しながら多様な意見を認め合い、共に高め合う「つながる力」の育成。→②③（笹トレ）
- 〈評価〉
- ・指導と評価の一体化
 - ・多面的な視点による生徒の学びの見取りと、生徒本人に納得感のある公正な評価、および次なる学びへの意欲向上。

生徒指導の重点

- ①【積極的な生徒支援】
発達支持的な視点に基づき、一人ひとりを大切にした支援を強化。
- ②【（笹トレ）を通じたピアサポート】
教え合い・認め合いを促進し、生徒同士の温かい繋がりを醸成。
- ③【校内サポートルームの設置・運営】
不登校生や教室に入りづらい生徒への個に応じた指導・支援を全校体制で推進。
- ④【いじめ防止の組織的対応】
学校いじめ防止基本方針に基づき、早期発見・早期対応を組織的に徹底。
- ⑤【「特別の教科 道徳」の充実】
自分を見つめ、多角的な視点で考えを深める内省的な対話を重視。
- ⑥【生徒会活動の強化】
校則改定を含む「自分たちでより良くする」主体的な活動を支援し、社会の一員としての責任感を育成。

健康管理指導の重点

- ①【健康保持と事故防止】
健康診断等の結果に基づく早期発見・適切な事後措置を徹底。
- ②【発達段階に応じた健康教育】
生命の大切さ、ジェンダー教育、飲酒喫煙薬物乱用防止等について、3年間を通じた計画的な指導を実施。
- ③【睡眠教育の推進】
自律的な生活習慣の基礎として睡眠の重要性を学び、自らコンディションを整える力を育む。
- ④【体力調査を活用した体力向上】
自らの課題把握と主体的な体力づくりの実践。
- ⑤【食育の推進と環境意識の醸成】
給食を活用した、生涯にわたる健康な体づくりの基盤形成。併せてフードロス削減等の視点による、食の循環や環境への関心向上を育成。